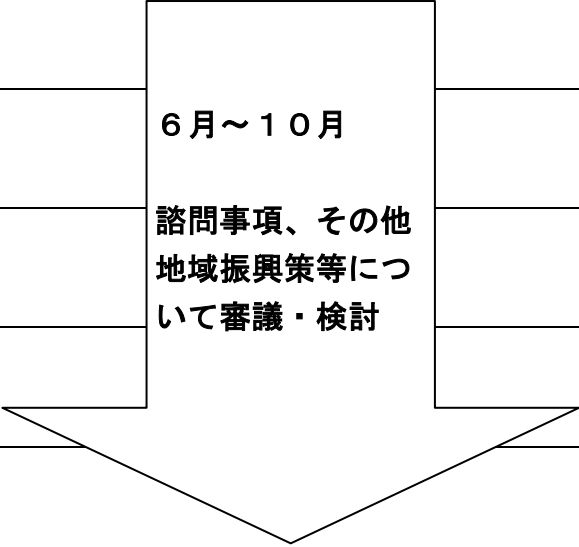


(案)

## 平成 27 年度地域審議会のスケジュール

年 月	内 容	
5月下旬～ 6月上旬	<b>第 1 回 地域審議会</b> ・スケジュールの説明 ・新市建設計画関係予算等の説明 ・答申に対する市の取り組みについての説明 ・報告事項	
6月	 <p>6月～10月 諮問事項、その他 地域振興策等につ いて審議・検討</p>	
7月		
8月		<b>項目及び概要の 中間とりまとめ</b>
9月		
10月		<b>答申書とりまとめ</b>
11月	<b>市長答申</b>	
12月		
28年1月		
2月		
3月		

## 平成27年度新市建設計画関係予算

(単位:千円)

地域	区分	具体的事業名	事業費	合併特例債
家島町	経常	ぼうぜペーロンフェスタ	2,500	0
		家島町観光花火大会	1,200	0
		食の名物・特産品等開発事業	5,800	0
		水泳大会	84	0
		観光推進事業(家島観光集客サポート事業)	600	0
		地域審議会の運営	1,221	0
		小計	11,405	0
	投資	保健福祉サービスセンター整備事業	220,500	203,300
		横山最終処分場等整備事業	14,800	9,200
		合併処理浄化槽整備事業	500	0
		水産業拠点整備事業(強い水産業づくり推進)	116,770	0
		広域漁港整備事業	432,000	102,600
		並型漁礁設置事業	34,000	0
		離島漁業再生支援事業	72,880	0
		道路新設改良事業(鷹ノ浦炭焼線ほか4路線)	116,000	109,500
		河川改修事業	15,000	14,200
		奈座港ターミナル施設の整備	6,000	0
		防災施設の充実(排水施設整備)	48,000	45,600
		消防団施設・装備の充実	12,900	12,200
		園舎、校舎等リニューアルの推進[家島小学校運動場、坊勢中学校 屋内運動場、家島幼稚園園庭、体育館等吊天井対策(家島中学校他 2校)]	139,373	12,400
グラウンド等の改修	57,000	0		
小計	1,285,723	509,000		
合計	1,297,128	509,000		

## 具体的事業素案等の状況(26年度末実績)

## 《家島地域》

目標	事業名	具体的事業素案等名	区分	
1	道路新設改良事業	長浦線	完了	
		室ノ内線		
		右ノ浦線	完了	
		加野児童公園線	事業中	
		網手海山線		
		赤坂網手線		
		東破風線	事業中	
		家島地区海岸道路		
		坊勢地区海岸道路		
		鷹ノ浦炭焼線	事業中	
		山町線	事業中	
		左ノ浦中山線		
		中井谷網手線		
		※ 宮幼稚園沿南北線	事業中	
	道路防災事業		※ 道路防災対策事業(坊勢島19号線)	完了
			※ 道路防災対策事業(家島1号線)	完了
			※ 道路防災対策事業(坊勢島25号線)	完了
			※ 道路防災対策事業(坊勢島21号線)	完了
			※ 道路防災対策事業(家島18号線)	完了
	海上交通網の整備促進	離島間海上交通運航推進事業	事業中	
上水道の安定供給事業	配水池新設事業(坊勢地区)	終了		
	※ 監視システムの整備	完了		
河川改修事業	※ 破風川	事業中		
2	公営住宅建替事業	公営住宅建替・改修事業(小川住宅)		
		公営住宅建替・改修事業(日和山住宅)		
		公営住宅建替・改修事業(中山住宅)		
	保健センター等の整備事業	※ 家島保健福祉サービスセンター整備事業	事業中	
	地域保健医療の充実	医療体制の検討(家島診療所)	事業中	
	防災施設の充実	ヘリポートの有効活用	完了	
		※ 避難所看板設置	完了	
		防災倉庫の設置	完了	
		※ 防災機器移設	完了	
		※ 排水施設整備	事業中	
	通信手段等の整備	防災行政無線の整備	完了	
		消防・救急無線の整備	完了	
	耐震性防火水槽の整備	消防水利整備事業	終了	
	消防・救急救助拠点の整備	※ 消防出張所の整備(家島)	完了	
		※ 消防出張所の整備(坊勢)	完了	
	消防団施設・装備の充実	消防団車庫等の整備	事業中	
		※ 消防団被服の統一	完了	

「※」は、合併後に追加した事業

## 《家島地域》

目標	事業名	具体的事業素案等名	区分	
3	公民館網の整備	公民館整備事業	完了	
	図書館網の整備	図書館網の整備	完了	
		※ 図書館の整備	完了	
	文化活動の推進	文化活動支援事業	終了	
	学習活動・機会の充実	※ 地域子育て支援拠点整備	完了	
	園舎、校舎等のリニューアルの推進(公共施設の耐震対策の推進を含む)	家島小(校舎)	完了	
		坊勢小(校舎)	完了	
		家島中(校舎)	完了	
		坊勢中(校舎)	完了	
		※ 家島小(給食)	完了	
		※ 坊勢小(給食)	完了	
		家島小(体育館)	完了	
		坊勢小(体育館)	完了	
		※ 体育館等吊天井落下防止対策	事業中	
		家島小(水泳プール)		
		坊勢小(水泳プール)		
		家島中(水泳プール)		
		坊勢中(水泳プール)		
		※ 家島小(運動場)	事業中	
		※ 家島中(運動場)	完了	
		※ 家島幼(運動場)	完了	
		※ 坊勢幼・坊勢小(運動場)	完了	
		※ 家島幼(園庭)	事業中	
	スポーツ・レクリエーション施設の整備	B&G体育館棟の改修	完了	
		B&Gテニスコート等の改修	完了	
		※ 家島運動広場法面復旧事業	事業中	
		B&G艇庫棟の改修	事業中	
		※ 屋内プール(B&G海洋センター)の改修	完了	
		※ 屋内プール(坊勢スポーツセンター)の改修	完了	
	スポーツ・レクリエーション活動の啓発と参加の推進	海洋スポーツ大会	事業中	
	4	地域産業の振興	地域産業振興事業(地域産業PR事業)	完了
		漁業生産基盤の整備	水産業拠点整備事業(強い水産業づくり推進)	事業中
		漁業の振興	広域漁港整備事業	事業中
並型漁礁設置事業			事業中	
※ 離島漁業再生支援事業			事業中	
新規産業分野の育成		新規産業創出事業	事業中	
		食の名物・特産品等開発事業	事業中	
		観光資源再開発事業	事業中	
観光情報拠点の整備		観光推進事業(観光案内所の運営)	終了	
		※ 観光推進事業(家島観光集客サポート事業)	事業中	
		※ 観光案内サイン整備事業	完了	
海上交通の充実	※ 家島ふれあいプラザ整備等事業	完了		

「※」は、合併後に追加した事業

## 《家島地域》

目標	事業名	具体的事業素案等名	区分	
5	海洋交流拠点の整備	海洋交流拠点活用事業	事業中	
	観光イベントの実施	※ ぼうぜペーロンフェスタ	事業中	
		※ 家島観光釣り大会	終了	
		※ 家島町観光花火大会	事業中	
		※ 魚の料理教室	終了	
	公園等の整備	公園等整備事業(家島地区、坊勢地区)		
		※ 新井地区公園施設整備	完了	
	資源循環型社会づくり事業	※ ごみ分別・減量化推進事業 〔家庭ごみ分別区分の統一事業〕	完了	
		※ ごみ分別・減量化推進事業 〔ごみ収集車更新事業〕	完了	
	環境保全事業	一般廃棄物処理場新設事業		
		廃棄物海上搬出設備整備事業	完了	
		横山最終処分場跡地利用事業		
		土岸最終処分場整備事業	事業中	
		※ 横山最終処分場整備事業	事業中	
		残土処分地整備事業		
		合併処理浄化槽整備事業	事業中	
		※ 家島美化センター整備事業	完了	
	7	電子市役所の構築	統合型地理情報システムの整備	完了
			戸籍総合システムの整備	完了
地域事務所の整備		拠点施設整備	完了	
庁舎の整備		旧市町庁舎改修事業(家島事務所)	完了	
		※ 旧市町庁舎改修事業(家島群島開発総合センター)	完了	
地域審議会の設置		地域審議会の設置	完了	

「※」は、合併後に追加した事業

答 申 書

平成26年11月19日

家島地域審議会

# 答 申 書

平成26年（2014年）11月19日

姫路市長  
石 見 利 勝 様

家島地域審議会  
会長 福 井 稔 充

## 新市建設計画の執行状況について（答申）

平成26年（2014年）4月24日付けで諮問のありました標記の件について、家島地域審議会において審議した結果、下記のとおり答申いたします。

### 記

1. 地域産業の振興について（詳細別紙）
2. 離島における海上交通の改善について（詳細別紙）
3. 港湾・漁港施設の整備について（詳細別紙）
4. 道路の整備促進について（詳細別紙）
5. 福祉のまちづくりについて（詳細別紙）
6. 消防施設・資機材の整備について（詳細別紙）

## 1. 地域産業の振興について（継続）

地域資源の有効活用による活性化の観点から、地域産業の振興について、以下のとおり答申します。

### 【理由（経緯）等】

家島地域では、島内での雇用の場が減り続け、これにともない島内人口が激減しております。人口流出を防ぎ地域の活性化を図るためには地域産業の振興に力を注ぎ、雇用の場を確保することが急務であります。

地域では、これまでの主要産業であった石材・海運・漁業の活性化に対する取り組みはもとより、近年、NPO法人いえしまが地域特産品として「のりつこ」などの開発・販売を行ったり、県立家島高等学校が島ならではの「エビカレー」の創作を始めるなど地域ぐるみで食の名物・特産品等の開発や販売に取り組んでおり、観光産業の育成に対する取り組みに力を注いでおります。

しかしながら、観光産業発展のための、公共トイレの整備、港周辺の駐車場の整備、喫茶店・食事処の整備や、島民のおもてなし精神の育成など観光客を迎えるための体制づくり、「海の駅」構想の実現などの事業は市の支援、助成が不可欠であります。

また、引き続き食の魚離れ対策の実施、家島産石材の市事業での活用及び国、県への要望も不可欠であります。

地域活性化のため、市の支援・助成が引き続き必要であると考えます。

### 【具体的な答申内容】

〔新市建設計画具体的事業素案に基づく事業〕

- (1) 食の名物・特産品等の開発と販売による雇用創出（継続）
- (2) 「海の駅」構想の推進（継続）
- (3) 公共トイレ、港周辺駐車場の整備（継続）
- (4) 県と連携のもと大規模魚礁設置事業の推進と継続、市の単独投石事業の拡充（継続）
- (5) 公共・防災工事における家島産石材の活用の推進と県内事業における優先化（継続）



## 2. 離島における海上交通の改善について（継続）

新市の一体性の速やかな確立の観点から、離島における海上交通の改善について、以下のとおり答申します。

### 【理由（経緯）等】

高齢者バス等優待乗車助成事業は、市の財政事情等を鑑み、平成26年度に見直され縮小されましたが、同事業における船舶利用者の外出可能回数は、バスや電車利用者に比べ極端に少なく、家島地域住民にとっては外出機会の不公平感が否めません。早期に公平性の確保が必要と考えます。

また、離島である家島地域ではその地域性から、心身障害者運賃助成制度を導入していただいておりますが、透析患者等に対し平成26年度に若干の改善を実施いただきましたが、まだまだ透析患者等の個人負担は大きく、更なる制度の拡充が望まれております。

一方、家島地域と旧姫路地域を結ぶ離島定期航路は、市としての地域の一体性の確立はもちろん、家島地域住民の命をつなぐ生活航路であります。

しかしながら、燃料費の高騰や人口流出による利用者の減少などにより、大型船等の運航は赤字が続いており、離島定期航路事業の維持は民間の力だけでは経営困難な状況にあり、この状況が続きますと地域住民の命をつなぐ生活航路の断絶となりかねません。

離島航路整備法における1航路1事業者から1航路複数事業者への補助対象枠拡大や内海航路における小型船舶検査対象船舶トン数の見直しの国への要望や働きかけ、市から離島定期航路事業者への赤字補てんのための単独助成など、家島地域住民の命をつなぐ、生活離島定期航路を守るための市の施策の実施が必要であると考えます。

### 【具体的な答申内容】

[新市建設計画具体的事業素案に基づく事業]

- (1) 高齢者バス等優待乗車助成事業等における外出機会の公平性の確保（継続）
- (2) 心身障害者運賃助成（ふくし切符）制度の拡充（継続）
- (3) 離島航路を守るため、離島定期航路事業者への補助対象拡大等の国への要望（継続）
- (4) 離島航路を守るため、市から離島定期航路事業者への赤字補てんのための単独助成（新規）

### 3. 港湾・漁港施設の整備について（継続）

均衡と調和ある都市発展の観点から、港湾・漁港施設の整備について、以下のとおり答申します。

#### 【理由（経緯）等】

四方を海に囲まれている家島地域で、安全・安心に暮らすためには、高潮被害等から、市民の生命・財産を守る内水排水対策を県の高潮対策と一体的に進める必要があります。

特に低地の多い真浦地区では、排水機場施設の整備促進に加え、これが整備されるまでの応急対策としての既存排水ポンプ施設の年次計画による更新、増設等が急務であります。

また、内水排水対策として、同地区奥方面上流の排水路の整備が必要であると考えます。

一方、活力あるまちづくりのためには、地域の玄関口である各港の整備や海水浴場の整備、なかでも坊勢漁港奈座地区内の交流拠点施設の整備や坊勢奈座新港の整備、家島網手港の整備は急務であり、港内での船舶の安全航行確保のため、ガット船の伝馬船用浮棧橋の設置も必要であると考えます。

#### 【具体的な答申内容】

[新市建設計画具体的事業素案に基づく事業]

- (1) 坊勢漁港奈座地区内の交流拠点施設（船舶離発着施設）の早急な整備（継続）
- (2) 坊勢奈座新港（広域漁港整備事業）の進入道路も含めた整備促進（継続）
- (3) 坊勢トリガウチ海水浴場の家島産石材を使用した拡張整備（継続）
- (4) 各港への伝馬船（通船）用浮棧橋の設置等（継続）

[新市建設計画本文に基づく事業]

- (5) 県との連携のもと、家島港・家島漁港の整備促進
  - ① 高潮対策事業と内水排水対策事業の実施（継続）
  - ② 既存排水ポンプ施設（宮、真浦地区）の更新、増設、増強（継続）
  - ③ 真浦地区排水機場施設の整備促進（継続）
  - ④ 網手港整備促進の県への働きかけ（新規）

#### 4. 道路の整備促進について（継続）

新市の一体性の速やかな確立の観点から、道路の整備促進について、以下のとおり答申します。

##### 【理由（経緯）等】

家島地域は、島特有の狭隘な地形で、救急患者搬送車や消防自動車等の人命、財産を守る緊急車両が通行できる道路、園児や児童、生徒が安心して通園、通学できる道路等、生活の根本を支える生活道路が著しく不足しており、道路の新設、拡張が必要であります。

特に緊急車両の通行できる道路の整備として、宮の山町地区、真浦の畑及び加野地区の整備、園児や児童、生徒が安心して通園、通学できる道路として、坊勢のカズラ鷹ノ浦地区の整備が強く望まれております。

また、既設の道路の老朽化や、沿線危険箇所から道路を守り、安全な走行を確保するためには維持修繕や道路防災事業の継続的な実施が必要であると考えます。

##### 【具体的な答申内容】

[新市建設計画具体的事業素案に基づく事業]

##### （1）道路新設改良事業（生活道路整備事業）の促進（継続）

東破風（幼稚園）線（家島）、赤坂網手線（家島）、網手海山線（家島）

##### （2）道路維持修繕事業、道路防災事業の促進（継続）

山町線（家島）、左ノ浦中山線（家島）、鷹ノ浦炭焼線（坊勢）

道路防災工事（各地区）

[新市建設計画本文に基づく事業]

##### （3）道路新設改良事業、道路維持修繕事業の促進（継続）

##### 【地区優先事業箇所】

宮地区	山町線	坊勢地区	カズラ鷹ノ浦線（仮称）
男鹿地区	南北線（仮称）		

## 5. 福祉のまちづくりについて（継続）

**新市の一体性の速やかな確立の観点から、福祉のまちづくりについて、以下のとおり答申します。**

### 【理由（経緯）等】

現在、坊勢地区には高齢者や障害者のための介護拠点施設、地域活動支援センターがなく、機能回復訓練等は船舶を利用して家島地区に出向いてサービスを受けている状況にあります。しかし、高齢者や障害者にとって船舶での移動は、陸上交通機関に比べ、身体的、精神的に負担が大きく、ましてや悪天候での船舶乗船は、困難と危険をとまなうものであります。

離島振興法では、第10条の2「介護サービスの確保等」で、介護施設の整備、提供される介護サービスの内容の充実等について適切な配慮をするものとされております。また、第11条の2「保健医療サービス等を受けるための住民負担の軽減」では、他の地域との格差の是正を図るため、住民負担の軽減について適切な配慮をするものとする明記されております。

高齢化の進む中、坊勢地区の人々が、安心して介護等を受けられるよう、介護拠点施設及び障害者のための施設の整備が必須であります。採算性等を考慮すると坊勢地域での民間企業のみでの整備は現実的には困難であります。

よって、国の定める離島振興法等に基づく市の支援が必要であると考えます。

### 【具体的な答申内容】

〔新市建設計画本文に基づく事業〕

（1）坊勢地区への介護拠点施設及び障害者のための施設整備への支援（継続）

## 6. 消防施設・資機材の整備について（継続）

均衡と調和ある都市発展の観点から、消防施設・資機材の整備について、以下のとおり答申します。

### 【理由（経緯）等】

家島地域では、地元消防団の資機材を使った地元消防団及び地域住民の協力による消火活動が地域住民の生命と財産を守っております。

このため、市の消防職員が常駐する他の消防団とはその役割と重要性が大きく異なり、消防団が十分活動できる資機材の確保充実と消防施設の整備及び消防団員確保のための分団運営費の確保充実が地域住民の生命と財産を守ることに直結いたします。

現在、家島及び坊勢島には救急業務に携わる消防職員は常駐されていますが、消火活動を行う消防職員が不在であることや家島地域の狭隘な道路事情等を考慮いたしますと、地域住民の生命と財産を守るためには、地上式消火栓の整備が必須であります。これまでの市の「消火栓は地下式」という慣例に基づき減少しております。

よって、資機材確保充実の中でも特に地上式消火栓の継続と更新が強く望まれているところであります。

市民の生命・財産を守る安全・安心のまちづくりのため、消防施設・資機材及び分団運営費の確保充実等に市の支援が引き続き必要であると考えます。

### 【具体的な答申内容】

[新市建設計画具体的事業素案に基づく事業]

- (1) 地上式消火栓を始めとする消防資機材及び消防団員確保のため分団運営費の充実  
(継続)

## 1. 平成 26 年度 家島地域審議会審議の経緯

	開催日	時間	内容・議題等
第 1 回	4 月 24 日(木)	14:00～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会長及び副会長選出</li> <li>・ 諮問</li> <li>・ 地域審議会の概要について</li> <li>・ 地域審議会のスケジュールについて</li> </ul>
第 2 回	5 月 27 日(火)	14:00～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新市建設計画関係予算等について</li> <li>・ 平成 25 年度答申に対する市の取り組みについて</li> <li>・ 新市建設計画の変更について</li> <li>・ 平成 26 年度答申に向けての審議</li> </ul>
第 3 回	7 月 16 日(水)	14:00～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 26 年度答申に向けての審議</li> </ul>
第 4 回	8 月 27 日(水)	14:00～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 26 年度答申に向けての審議</li> </ul>
第 5 回	10 月 8 日(水)	14:00～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 26 年度答申に向けての審議</li> </ul>

## 2. 地域審議会委員名簿

(各号五十音順・敬称略)

		氏 名	備 考
第 1 号	公共的団体の代表 計 11 名	安 積 保 夫	
		池 田 一 憲	
		上 田 辰 雄	
		上 田 常 夫	副会長
		熊 野 哲 也	
		河 野 恵美子	
		小 林 すま子	
		中 村 利 公	
		野 村 巧	
		畑 野 長 利	
		福 田 弁一郎	
第 2 号	地方行政に識見を有する者 計 3 名	板 倉 千 鶴	
		出 口 貢市郎	
		福 井 稔 充	会 長
第 3 号	公募により選任された者 計 2 名	桂 さゆり	
		河 部 恵 子	

「第 1 号、第 2 号、第 3 号」は姫路市及び飾磨郡家島町の廃置分合に伴う「地域審議会の設置に関する協議第 5 条第 2 項」の区分による

平成26年度家島地域審議会  
答申に係る市の取り組みについて

平成27年6月2日（火）  
姫路市 総務局 総務部 家島事務所

番号	答申項目	説明内容
1	地域産業の振興について	<p>食の名物・特産品等の開発と販売による雇用創出については、26年度に大型ノリ自動乾燥機等整備事業のハード整備、家島ウォーク、家島坊勢とれとれまつり・いかなごまつり、姫路とれとれ市網干かき祭り等のイベント開催、アカガイ放流事業、シングルシードマガキ養殖試験等を実施しました。また、小学校給食食材としての提供など、促進に努めています。27年度には、新たに流通作業保管施設（漁具倉庫・雨天作業場）及び農林水産物処理加工場（カラスミ加工）の整備を予定しています。</p> <p>「海の駅」については、指定申請が終了し、本年4月1日より開設いたしました。</p> <p>大規模魚礁設置事業の推進と継続、市の単独投石事業の拡充については、投石魚礁（約1,600 m<sup>3</sup>）、県による投石マウンド（約15,300 m<sup>3</sup>）の設置及び設置後の状況調査や生物調査等を実施しています。また、坊勢漁港整備に伴う家島産石材の活用状況は、雑石で32,880 m<sup>3</sup>、基礎捨石で14,828 m<sup>3</sup>となっています。</p>
2	離島における海上交通の改善について	<p>高齢者バス等優待乗車助成事業等における外出機会の公平性の確保については、75歳以上の高齢者を対象に、バス優待乗車証（1回50円）、JR・山陽電車の優待乗車カード（年間8,000円分）、船舶の優待乗船券（年間8,000円分）の4つのうちいずれか1つを選択出来るようにしており、さらに、27年度は10月から要介護3以上の介護認定を受けている方に、タクシー助成券（年間500円券を16枚）を選択出来るようにしております。</p> <p>また、家島町に住所を有する75歳以上で、島外の医療機関に通院する方を対象に姫路・家島間の片道運賃が300円割引になる助成券を年間48枚交付しています。</p> <p>心身障害者運賃助成（ふくし切符）制度の拡充は、家島町に住所を有する障害者手帳所持者（身体は1級から3級）に対して姫路・家島間の片道運賃が半額になる助成券を年間12枚、人工透析患者の方に対しては平成26年度より12枚増やし年間156枚交付しています。</p>



番号	答申項目	説明内容
		<p>離島航路を守るための国への要望については、全国離島振興協議会に対し、</p> <p>①離島航路に関する補助要件の緩和（同一航路に複数事業者がある場合でも補助対象とすること）</p> <p>②離島における燃油類の格差是正（ガソリン以外の燃油類についてもガソリンと同様の支援を要望しました。</p> <p>離島航路補助については、網手～奈座間航路の補助申請に向けた航路診断調査を今年度実施する予定です。持続性の観点から離島航路補助については、国の補助を受け、県と市が協調補助を行う仕組みが最も望ましいと考えており、現時点においては、市単独補助は困難であると考えております。</p>
3	港湾・漁港施設の整備について	<p>坊勢漁港奈座地区内の交流拠点施設の整備については、総務局が担当することを決定し、整備に向け、準備を進めて参ります。</p> <p>坊勢奈座新港の整備促進については、物揚場等捨石投入工事、物揚場等ブロック製作・据付工事を実施しており、27年度には部分竣工を予定しております。</p> <p>坊勢トリガウチ海水浴場の拡張整備については、海浜の利用状況等を踏まえ、拡張の必要性や費用対効果を見極めたうえで事業化可能性等を検討します。</p> <p>各港への伝馬船用浮棧橋の設置等については、県が港湾整備工事に伴い設置していた仮設浮棧橋を家島船舶協同組合が伝馬船用浮棧橋として県から有償譲渡されました。</p> <p>県との連携のもと、家島港・家島漁港の整備促進については、26年度に真浦地区の排水ポンプ3基を既存の10 m<sup>3</sup>/分から21 m<sup>3</sup>/分に更新しており、今後も年次計画で更新していく予定です。一部未整備箇所の雨水渠についても整備を行いました。</p> <p>また、破風川他1河川の改修工事も実施し、県の網手港防波堤も整備中です。</p>

番号	答申項目	説明内容
4	道路の整備促進について	<p>道路新設改良事業（生活道路整備事業）の促進については、東破風（幼稚園）線は26年度に用地取得及び整備工事を実施し、27年度も引き続き整備工事を行っていく予定です。</p> <p>道路維持修繕事業、道路防災事業の促進、道路新設改良事業、道路維持修繕事業の促進については、山町線は26年度に測量委託を行い、27年度には用地取得及び整備工事を実施する予定です。鷹ノ浦炭焼線は26年度に測量及び設計委託を行い、27年度には用地取得を実施する予定です。</p>
5	福祉のまちづくりについて	<p>坊勢地区への介護拠点施設及び障害者のための施設整備への支援については、必要性については十分認識しており、今後とも事業所設置者の確保に積極的に努めて参ります。</p>
6	消防施設・資機材の整備について	<p>地上式消火栓を始めとする消防資機材及び消防団員確保のため分団運営費の充実については、消火栓の新設・更新は、消防局及び水道局において、設置場所等を含め、その都度関係者と協議しながら対応したいと考えています。</p> <p>また、26年度は宮・真浦・坊勢分団の軽四ポンプ積載車の更新、各分団への夜間活動用器具、応急処置用セットの配備を実施しました。27年度においても宮・真浦・坊勢分団への軽四ポンプ積載車の更新及び必要な消防資機材を配備していきます。</p>